

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ど できて いる	と ど が 多 い な い こ	で 全 く で き て い な い	コメント	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			住み慣れた家、馴染みの地域で生活されたい方の思いに応えられるよう「底なしの親切」「よろこび」をモットーに、安心して最期まで過ごしていただけるよう支援していく事を目指します。	・在宅での支援を安心してできるよう声掛けしている。(居宅) ・住み慣れた地域で生活される事をモットーに支援されるので大変良いと思う。(包括)
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			月1回、職員の定期ミーティングで話をし、理解を深めるよう努めている。	・伝達はなされています。(居宅)
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			法人でオペレーターの判断能力や専門性を向上させる為管理者に向けて研修を行い、管理者が職員の定期ミーティング内で研修を行っている。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			全職員が統一したサービスが行えるよう、ミーティング内で話し合いをしたり、介護技術を習得してもらうように実技研修を行ったりしている。	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				コメント	外部評価コメント
			できている	できほ きている	でき が多い いない こ	でき てい ない		
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			月1回、ミーティングの時間を設け、情報の共有を行っている。	・十分にミーティングされている。(包括)
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			業務を分轄したり、訪問時間に幅を持たせたりして柔軟に動けるようにしている。	・その方に応じた時間を柔軟に組んでいる。(居宅)
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			3か月に1回開催し議事録を作成。指摘や提案について検討し改善できるように努めている。	・その方に応じたサービスを共に考えている。(居宅)
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			外部に出す書類は、イニシャル化や○抜きにしている。情報交換に置いては、FAXや電話、ミーティングを活用している。	・個人情報もしっかり管理している。(居宅)
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)			○		マニュアルはあるが体制が整っていないので早急に体制を整える事が必要と感じた。	・災害時マニュアルの体制づくりは当方もなかなか進んでいないのでお互いに努力したいものと思っている。(包括)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ぼ できて いる	と が 多 く い ない こ	で き く い ない	コメント	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				契約時、個人情報保護に関する同意を取り交わしている。事業所内では個人ファイルを鍵がかかるキャビネットに保管し、外へ持ち出さないようにしている。	
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用開始前にその方の生活状況を聞き、看護と多方よりアセスメントを実施している。	・実践者のアセスメントが見えない為不明(訪問看護) ・看護の方からのアドバイスも助かっています。病気の面より体調管理がしっかりできない方もおられる為安心して生活ができています。(居宅)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ きて いる	で が 多 い な い こ	で全 きて い ない	コメント	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている			○		<p>看護のアセスメントを基に介護の方も行っているが遅れ気味であり、共有、つき合せが十分でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践者のアセスメントが見えない為不明(訪問看護) ・外部の看護の方の為連携が図りにくい事もありますが、電話でしっかり連携している。(居宅) ・介護のアセスメントの研修をされたら良いと思う。(包括) ・訪問する時に、処方の内容・採血データ・栄養状態の情報が欲しい。(訪問看護) ・アセスメントから必要であれば医療につながられます。(訪問看護) 	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ぼ できて いる	と ど が 多 い こ	で 全 く で き て い な い	コメント	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		看護のアセスメントにより、身体的な事や生活状況の注意点などのアドバイスをいただいているが、うまく活かしきれていない事が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の伝達力強化の工夫が必要(質の担保を)(訪問看護) ・病気により維持・悪化という事もあるが、病気に対するアセスメントから維持できているケースが多いと思う。(居宅) ・看護のアセスメントの活かし方についてはまた十分研修されて下さい。(包括)
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている			○		利用当初、血圧の数値が高く体調の不調を頻回に訴えておられたが、処方された薬を確実に服用して頂き、毎日の血圧測定を行いその数値を受診時に家族に持参してもらった。訪問看護から食事や水分補給、居室の環境などのアドバイスももらいながら支援を行い、血圧が安定し不調も訴えられなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪い事で心配になる事もあるが、テレビ電話にて安心されているケースも多い。薬を毎日服用されたか確認する事で、身体の状態も良くなってきているケースが多い。(居宅)
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている			○		利用者の状況に応じて、サービスの時間を増減したり随時訪問をしたりして対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ柔軟に対応している。(居宅) ・まちづくりの観点からしても知識がありません。サービスが周知されて利用しやすくなれば良いと思う。(自治振興会長)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ぼ できて いる	と ど が 多 い な い こ	で 全 く で き て い な い	コメント	
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			遅れ気味ではあるが、月1回のモニタリングを行い訪問看護、ケアマネジャーに報告したいと考えている。	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			体調や薬の事で迷った時、連携の訪問看護へ連絡し、指示やアドバイスをもらえるように関係を作っている。	・薬の事で困った時、訪問看護の方のアドバイスは助かっております。(居宅)
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			月1回のミーティングでケースを上げ、話し合いを行い、指導、助言をもらったり情報共有を行っている。	・アセスメント用紙により情報共有すると共にタイムリーに連絡をとる事ができるようになってきた。(訪問看護)
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス開始前に、パンフレットを使ってご本人、ご家族に説明を行っている。また、契約時に重要事項説明書を基に、サービスの趣旨や内容を説明している。	・サービス開始前に定期巡回型サービスの特色やメリットなど分かりやすい説明をしている。(居宅)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価		外部評価コメント
			できている	できほ きている	でき が多い	でき ていない	でき ていない	コメント	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○				計画作成後自宅を訪問し、説明を行い、納得いただいた上サインをもらっている。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○				状況の変化をケアマネジャー、家族に報告し、状況に合わせたサービスの提案をしている。	・利用者の体調に応じ家族やケアマネへサービスの提案あり。(居宅)
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○				日々のサービスで変化などがあれば、ケアマネジャーに報告している。	・サービスの提供日時は、日々変化あれば電話やFAXで毎日報告あり。(居宅) ・今まで以上にケアマネとの連携が密にあればいい。(包括)
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			○			地域のフォーマル、インフォーマルの活用までは提案しきれていない。	・地域の方や八百屋さんと連携を図っていた。(居宅) ・インフォーマルサービスについては提案できるものも少ないので包括としても調査していきたい。(包括) ・関わりとしては難しい。個人の事をどこまで話していいのか、話し合いをしなくてはいけない。(居宅)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価		外部評価コメント
			できている	でほ できている	と できている	で全 く できていない	コメント		
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			サービス担当者会議に参加し、利用者の情報提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議等の情報がST側に届かない傾向。全体像がつかみにくい。(訪問看護) ・サービス担当者会議では、利用者の状況や今後のリスクなど、情報提供がある。(居宅) 	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ぼ できて いる	と ど が 多 い ない こ	で 全 く で き て い ない	コメント	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要な 、利用者等に対する包括的なサ ポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な 、包括的なサポート(保険外サービス、イン フォーマルケア等の活用を含む)につい て、必要に応じて多職種による検討が行 われている(※任意評価項目)		○			通院介助や保険外のサービスに 対しては自費のサービスを提案し ている。	・自費のサービスを契約され、 一人暮らしでも安心して生活で きるように支援しているケース もある。(居宅)
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施 設からの退院・退所の際などに、切れ目 のない介護・看護サービスを提供するた めに、必要に応じて多職種による検討や 情報の共有が行われている(※任意評価 項目)		○			退院前、退所前のカンファレンス には必ず参加し、利用開始がス ムーズに行えるようにしている。	・左記の参加情報がSTにタイム リーに届かない。(訪問看護) ・退院前カンファレンスに参加さ れ利用者や家族の方が安心して サービスを受けられるよう連 携を図っている。(居宅)
多職種による効果的な役割分担及び 連携に係る検討と、必要に応じた関係 者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続 に必要な、包括的なサポート体制を 構築するため、多職種による効果的な役 割分担や連携方策等について検討し、共 有がされている(※任意評価項目)			○		一部の人は他職種との連携の為 共有の連絡ノートを使用している。 全利用者まではできていない。	・医療との連携など、共有連絡 ノートを使用して連携を図って いる。(居宅) ・他職種連携については各々 が努力して役割分担や情報共 有に努めていきたい。(包括)
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、 サービスの概要及び効果等の、地域 に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録につい て、誰でも見ることのできるような方法 での情報発信が、迅速に行われている			○		議事録を作成し回覧しているのみ にとどまっている。	・参加しないと議事録が入手で きず会議の全体像がつかみに くい。(訪問看護)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ぼ できて いる	と ど が 多 く い ない こ	で 全 く い ない	コメント	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		出前講座と称した説明会を行えるようにしているが、実際行なっていない。 ・以前に、出前講座を依頼した事があり、ケースに応じてどのようなサービスが行えるか詳しく説明してもらった。(居宅) ・事業所の中でもケアマネジャーは入れ替わるので一人でも知っていれば利用されるかもしれないが、その事業所によると思う。(居宅)	
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		十分にとは言えない。 ・地域包括システムについては地域での説明会をしていますが高なかなか十分に説明しきれていないのが現状である。(包括)	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			事業所が数か所あるので、大まかなエリアを定めているが、希望があれば行けるようにしている。	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価		外部評価コメント
			できている	できている	できていない	できていない	コメント		
			できている	できている	できていない	できていない			
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○			・安心して暮らせるまちづくりにについてはネットワークなどを活用し包括としても今後協力していきたい。（包括）	
Ⅲ 結果評価（Outcome）									
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている			○		目標を達成する為、状況に合ったサービスが提供できる様努めている。	・利用者の生活パターンに合わせ目標を設定している。（居宅） ・定時に巡回してもらう事により孤独感から救われている方も多い。（訪問看護）	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	実施状況				自己評価	外部評価コメント
			できて いる	でほ ぼ できて いる	で か く できて いない こ	で か く できて いない	コメント	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				<p>独居、老夫婦世帯、ターミナルの方などには安心して在宅生活を続けられるとの声が聞かれている。</p> <p>・独居の方でベッドより転落しておられた際に、すぐに対応があった。高齢者世帯からも、24時間安心してコールができるとの声があった。ターミナルの方はいつどんな状態になるかわからないので、24時間テレビ電話で対応できると安心だと言われるケースがあった。(居宅)</p> <p>・巡回してもらっている事により、日常生活に適度な緊張感が生まれ、規則正しく生活できると感じておられる方も多い。(訪問看護)</p> <p>・人が生きていくには1日の食事が大事。介護で入る時には状況が見えていると思うので、知識を持っていただきたい。月に一度のアセスメントでアドバイスしてもなかなか聞き入れてもらえないが、毎日関わる中であれば聞き入れてもらえるのではないか。病気に応じてどう活かすか、勉強していただきたい。(訪問看護)</p>	